

【エクアドル経済:2019年10月】

1. OPEC脱退へ

エクアドル政府は1日、2019年12月31日でOPECを脱退することを発表した。脱退理由については財政健全化及び石油を増産したいエクアドル政府にとってOPECが実施する協調減産への参加が難しいことが挙げられた。サウジアラビア・エネルギー大臣は、エクアドルの石油生産量はOPEC加盟国の中で最も少なく、今回の脱退による影響はないと述べた。エクアドルは1973年にOPECに加盟、1992年に一度脱退したが、2007年に再加盟していた。

2. 経済指標

(1) GDP成長率上昇

エクアドル中銀は2019年第二四半期のGDP成長率が前年比0.3%上昇したと発表した。今年度第一四半期と比べても+0.4%の成長率であったとのこと。輸出部門と家庭消費部門での成長が著しく、特に石油輸出及び中国、ブラジル向けのエビの輸出増加が全体のGDP成長に繋がった。

(2) 失業率の低下

国家統計調査局(INEC)は16日、今年の3月及び7月の調査で37.9%であった正規雇用率が、9月に38.5%に上昇したと発表した。マデロ労働大臣によれば、2019年に13万件の雇用が創出されたとのこと。更に再貧困率にも低下が見られ、約23万人が最貧困層を抜け出したと話した。しかしながら、失業率は前回(7月)より0.5ポイント増加し、4.9%を記録した。前年の同時期と比べた正規雇用率は約1ポイントの低下、失業率についても0.9ポイントの上昇が見られた

3. 油田開発を巡る民間企業との国際係争

国際投資紛争解決センター(ICSID)が仲裁し、フランス石油企業(PERENCO)への一方的な契約解除は不当であったとして、エクアドル政府に4億7100万ドルの損害賠償支払いを求めた件で、エクアドル国家弁護士事務所は同センターに対し、PERENCOがエクアドルにおいて環境破壊に荷担したなどとして、判決無効及び審査期間中の補償金支払い延期の申し立てを行った。

4. 緊縮財政政策案発表

(1) 政府発表内容 (以下の案は10月危機をうけ頓挫。5及び6参照。)

ア. 燃料費補助金撤廃

大統領令883号により、ガソリン2種類(レギュラー、エタノールガソリン)及びディーゼルガスの価格自由化を発表した。ガソリンは20%~25%、ディーゼルについては2倍以上の値上がりとなり、3日の0時より適用される。今回の補助金撤廃により、年間13億ドルの歳出削減が可能となる。

イ. 税制改革

年間1千万ドル以上の利益を計上している企業、プラスチック袋、デジタル・サービス、海外居住の株主配当金への課税により5.85億ドル収入増を見込んでいる。また、産業強化策として、産業用車、IT機器、農産物用品、第一次産品輸入に対する関税撤廃や、海外送金税(ISD)免除及び減額や企業への事前課税制度を検討している。

ウ. 労働法及び公務員法改革案

国営企業社員の毎月1日分の給料減及び休暇が半減(年30日から15日)、契約社員(無期限)の次回の契約更新時より給与20%減の検討。

また、起業や育児休暇、重病、テレワークや期限付の契約社員制度など現代の仕事形態に合った契約システムの採用を検討している。

(2)社会的弱者層、影響をうける産業への対応策

ア. 社会的弱者の生活保護

社会的弱者層へ毎月支給している生活補助金枠に30万世帯を追加するほか、130万世帯に対し毎月15ドルの補助金を増額する。

イ. 産業強化策

上記税制改革の他、ディーゼル燃料補助金削減により影響を受けることが予想される中小農業セクターや水産加工セクターに対し、特別電気料金の適応を実施する。

(3)IMFの反応

エクアドル政府の一連の計画に対し、IMFは「経済正常化の目標に基づいた非常に重要な決断であり、また社会的に脆弱な層の支援策も含まれていることについても、肯定的に見ている」との反応を示している。

5. デモ・ストライキによる損失

(1)石油部門

デモ期間中7日～13日までの間に約20の石油鉱区がデモ隊などにより占拠、妨害された影響で、約187万バレルが生産できず、その損害は1億ドル超に上った。更に施設の破壊、略奪などにより、損害額は更に増えるとみられている。エネルギー省は、21日になりようやく通常の生産が可能になったと発表した。

(2)花き産業

花き産業はデモ期間中、デモ隊による侵入や営業妨害行為、労働者に対する暴力行為(特に女性)などを受けた。エクアドル花き生産・輸出業者組合は10日、上記行為により、これまでで3千万ドルの損害を被ったほか、花き産業従事者の内、およそ30万家族に影響が出たと発表した。

(3)畜産業

畜産業者はデモ期間中に営業停止には至らなかったものの、牛乳の出荷ルートの道路封鎖などから輸送ができず、およそ300万リットル(360万ドル)／日の損失が生じたほか、家畜の飼料が確保できず、病気の治療もできないなどの被害も受けた。

6. 補助金撤廃の撤回

(1)内容

13日、政府と先住民グループは国連の仲介の下対話に応じ、その結果、政府は14日に燃料補助金撤廃を命じた大統領令883号を撤回。新たな大統領令の発出まで、ガソリン及びディーゼル燃料をデモ前の価格に戻すと発表した。これにより、国内で12日間続いたデモ活動が終了した。

(2)IMFへの対応

IMF 経済局長は15日、エクアドル政府がマクロ経済改革のため、全国民に配慮する動きを見せたことに対し、歓迎の意を示した。

しかしながら、今回のデモにより燃料補助金撤廃を撤回したことで IMF との融資合意条件達成は難しくなると見られているため、エクアドル政府は融資続行を目指し、同機関及び他機関との交渉を続けており、先方の反応は好調であるとのこと。

7. 経済成長法案の提出

18日、エクアドル政府は国会に税制改革法案、公共財政法案、金融改革法案、労働改革法案を組み込んだ、経済成長法案を国会に提出した。内容は100万ドル以上売り上げのある企業への追加課税、100万～1000万ドル以上収入がある個人への追加課税、携帯電話プランへの贅沢税課税、デジタル・サービス(Netflix, Uber など)への付加価値税課税、炭酸飲料への課税、起業支援、国家予算の修正上限変更、中銀の独立化などで構成されており、これにより7億ドルの収入増を見込んでいる。

8. 水産養殖業関係の展示会開催

24日、グアヤキル市において、水産養殖業関連展示会が開催され、200社が参加した(日本からも薬品関連の参加企業あり)。同分野は前年比19%の輸出増を記録しており、26万件の雇用創出に貢献している。

9. 入札関連

(1)新石油精製所建設計画

22日、新石油精製所建設計画への公募が締め切れ、6団体が関心を示した。今後30日間で、送付された応募書類(技術能力、資金力、経験などに関する企業情報)を精査し、参加可能企業を絞る方針。

(2)代替エネルギー発電所建設計画(2件)

8月にエネルギー省が一般競争入札を公示した、ロハ県風力発電所建設計画(最低出力110メガワット)及びマナビ県の太陽光発電所建設計画(最低出力200メガワット)の2件について、10カ国の企業計22社からの応募があったと発表した。同案件技術委員会は来月13日まで第一次審査を行い、翌日結果をエネルギー省のホームページにて発表する。契約の締結は来年4月を予定している。

10. インドとの部分貿易協定交渉開始

23日、エクアドル及びインド政府が部分貿易協定締結に向けた交渉開始に合意した。両国間の貿易による利益は19.5～27億ドルと見られており、在インド・エクアドル大使は、その半分でも達成できれば十分な成果となるとコメントした。関税の減税により、貿易促進を図ることで新たな製品の市場開拓を狙っているとのこと。現在インドとの貿易は比較的少量にもかかわらず、インドからの輸入は前年の15%、輸出は23%成長している。

11. 新規操業鉱山から産出鉱物の輸出開始

7月に試掘が開始したミラドール鉱山において、運営会社が輸出基準を満たしていない(労働環境や施設、品質管理不備など)として司法から120日の操業停止の判決を受けていた件で、工業統制管理機構(Arcom)は指摘事項の内71件につき修正完了、残りの修正部分は53件となっている旨、発表した。手続きが順調に進み Arcom の承認が下りれば、11月には2万トン、およそ2300万ドル分の濃縮銅を輸出する予定。同企業は少なくとも売り上げの5%以上を政府に納めることになっている。エクアドル政府はフルータ・デル・ノルテ鉱山(金)が操業を開始すれば、鉱物輸出により2021年までで32億ドル以上の歳入を見込んでいる。

12. EUより違法漁業取り締まりに関する警告を受ける

EUは30日、エクアドル政府に対し違法漁業への取り締まりなど、合法的な漁業の実施強化を要求。これにより、エクアドル政府はEUから正式な警告(イエローカード)を受けたこととなる。エクアドルが同要求を実行しなかった場合、EU向けエクアドル産魚介製品の輸出が禁止される。

13. 来年度予算案の国会提出

31日エクアドル政府は国会に対し、2020年度予算案を提出した。来年度予算は314億6900万ドルで、今年度に比べ、11億6600万ドルの削減となっている。主要収入源である原油予想価格は51.3ドルに設定し、およそ1億9480万バレルを生産する予定。予想インフレーション率は0.84%で、歳入225億1600万ドルに対し、歳出は259億ドルとなる見込みで、33億8400万ドルの財政赤字を計上することとなる。

(了)